

所沢市立荒幡小学校 学校だより



みどりの子

2月号

25. 2. 1

学校教育目標

ふるさとを愛し、進んで学ぶ子

①かしこく ②なかよく ③たくましく

地域で学ぶ、地域から学ぶ

校長 橋本 徳邦

学校での学習の中に「総合的な学習の時間」という時間があります。

保護者や地域の皆様の中には「自分が小学校にいたとき、『総合的な学習の時間』なんてなかったな。」と思う方々もいらっしゃると思います。総合的な学習の時間は平成14年度から我が国の小・中学校で実施されています。

総合的な学習の時間は、ちょっと「不思議」です。

まずは、教科書がありません。

学習指導要領では、「各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める」と示されています。これは、総合的な学習の時間と他教科との大きな違いです。たとえば、国語科の目標は、「国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。」と示されていて、この目標は、日本全国の小学校で共通です。ところが、総合的な学習の時間については、一つ一つの学校によって異なります。

さらに、学習する内容や名称（荒幡小では「トトロタイム」と呼んでいます。）なども各学校ごとに決めることになっています。

したがって、総合的な学習の時間のやり方は各学校によってかなり違ってきます。

荒幡小学校は、荒幡地区、松が丘地区という地域の中に存在しています。身の回りの地域の特色を生かしていくことが、荒幡小学校の総合的な学習の時間の特色になると思います。

一番大切なのは、子どもたちが地域に出て地域で学ぶこと、地域の自然や歴史・社会、地域の皆様、保護者の皆様、つまり地域から学ぶことなのだと思います。

総合的な学習の時間の実施にあたっては、今年度も多くの皆様にご協力をいただきました。改めて感謝申し上げますとともに、来年度、さらに荒幡小の総合的な学習の時間を充実させていくために努力していききたいと思います。

●本日、2月1日に3年生が総合的な学習の時間に「うどん作り」の体験をしていました。今日は、3人の地域の皆様に「ゲストティーチャー」として来ていただきました。ありがとうございました。3年生の皆さん、おいしかったですよ……。



●体験したことや気づいたことは、記録に書きため、今後の学習に生かします。